



日本一元気な健康都市に向け、
全力投球！！

私、岡村（おかむら）秀人（ひでと）は、皆様のご信任をいただき、平成28年（2016年）4月から大府市政を担当させていただくことになり、市民、地域、企業、NPOの皆様と協働で、「日本一元気な健康都市おおぶ」を実現するために一所懸命取り組んでまいりました。

この間、本市では緩やかな人口増加と高齢化が進展する中、平成30年度（2018年度）に実施した市民意識調査ではすべての分野の施策において市民満足度が大きく上昇いたしました。そして東洋経済新報社が全国814都市を対象に実施した「住みよさランキング」では高い評価もいただいています。しかし、私にはまだまだやり残したことや取り組みたいことが沢山あります。大府市にはもっと伸びしろがあります。さらに進化したまちとして次の世代に引き継いでいかなければなりません。そのため、決意を新たにこれまでの経験を活かして、引き続き全身全霊を注いでスピード感をもって果敢に挑戦し、大府を舞台に新たな令和の時代を切り拓いてまいる覚悟です。

本市は、令和2年（2020年）に、市制施行50周年という節目の年を迎えることとなります。そして新たな第6次総合計画もスタートします。大府市の潜在能力を最大限発揮して、10万人都市を目指し、すべての世代の皆様が安心して住み続けることのできる持続可能な健康都市づくりを推進していきたいと考えています。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

市民意識調査（満足、おおむね満足と答えた市民の割合）

項目	平成27年度	平成30年度	UPした率
健康診断などの健康づくり支援	61.8%	65.6%	3.8ポイントUP
子どもを産み育てやすい環境の整備	46.0%	56.6%	10.6ポイントUP
高齢者の施設や福祉サービス	35.1%	50.9%	15.8ポイントUP
障がい者の施設や福祉サービス	24.5%	37.5%	13.0ポイントUP
スポーツ活動の環境整備・支援サービス	31.4%	42.8%	11.4ポイントUP
防犯対策（防犯灯の設置など）	27.8%	38.7%	10.9ポイントUP
駅周辺のにぎわいづくり	15.0%	20.5%	5.5ポイントUP
移動しやすい道路の整備	27.1%	33.5%	6.4ポイントUP
市役所の窓口サービス	45.6%	55.2%	9.6ポイントUP

おかむら 岡村ひとと さらなる「健康都市」に向けた 重点政策



① 子育て支援と人づくり

② オンリーワンの健康都市・地域共生

③ 男女共同参画・多文化共生

④ 賑わいと潤い

⑤ 防災と治安

⑥ 産業振興と勤労者福祉

⑦ 持続可能な都市経営

1

子育て支援と未来を担う人づくり

安心して子育てができる環境を整備し、知恵と愛にあふれたグローバルな人材を育成します。

4年間の主な実績

■子育て施策

- ・子ども子育て応援基金の設置
- ・子ども子育て支援事業計画に基づく事業展開（子ども子育て八策プラスα）
- ・産後ケア事業（宿泊型・日帰り型）の実施と産婦健康診査の拡充
- ・子育て世代包括支援センターの開設（保健センター内）
- ・市立荒池保育園の建替え、若宮保育園の保育室増室
- ・民間の認可保育園の誘致と認定保育室の認可化による保育所定員拡充（平成27年 2,270人⇒令和2年4月予定 3,595人）
- ・認可外保育施設の第2子に対する補助を拡充し、大府市認定保育室と改称
- ・認定保育室の指導監督等の事務を県から権限移譲を受け市で実施
- ・公立保育園・児童老人福祉センターの全てのトイレ洋式化（令和元年度完了予定）
- ・公立保育園（10園）防犯カメラ設置
- ・病児病後児保育運営費補助の拡充
- ・放課後クラブ開所時間20時まで延長
- ・民間放課後児童クラブ支援の拡充（キャリアアップ費用等の助成）
- ・国民健康保険税の子ども減免制度創設
- ・市役所家庭児童相談室の体制強化（臨床心理士の設置）
- ・私立幼稚園入園料の助成



子ども子育て八策
（運動遊びプログラム）



市立荒池保育園の建替え

■教育

- ・教育委員会の所掌事務を学校教育に特化
- ・小中学校での確かな学力の育成、体力づくり（教育振興基本計画に数値目標設定）
- ・道徳教育の推進（副読本「大府市にゆかりのある人」小中学校版・中学校版作成）
- ・スクールカウンセラー、心の教室相談員、養護教諭補助員の拡充
- ・プログラミング教育の開始、ALTの増員
- ・レインボーハウスへのタブレット導入（遠隔授業開始）
- ・中学生への英語検定受験料補助
- ・中学生、高校生の受験生へのインフルエンザ予防接種費用助成
- ・中学生の平和学習（平和大使として広島・長崎への派遣、平和朗読会の開催）
- ・いじめの防止等に関する条例制定
- ・命の教育として中学生への「地球のステージ」公演
- ・就学援助費の支給項目拡大、支給基準拡充
- ・給付型奨学金制度（高校生）の支給額拡充
- ・水泳授業における民間プールの活用（石ヶ瀬小学校）
- ・教職員の多忙化解消（高性能複写機、事務機器、留守番電話設置、プール清掃委託）
- ・中学校への部活動指導員の配置（大府南中学校）
- ・中学生学習支援事業まなポートの実施（公民館4か所）
- ・外国人児童生徒支援の拡充（日本語指導講師の派遣、携帯型音声翻訳機の導入）
- ・小中学校校舎、体育館の全てのトイレ洋式化（令和元年度完了予定）
- ・小中学校への防犯カメラ設置
- ・大府中学校バスケットボールコート、プールサイド・管理棟改修工事実施
- ・小中学校普通教室、特別支援教室の空調設備設置
- ・県立大府もちのき特別支援学校の誘致
- ・通級指導教室の増設（県要望）



副読本
「大府市にゆかりのある人」



小中学校普通教室、
特別支援教室の空調設備設置

お約束します。

①待機児童ゼロ・安心して子育てができる環境づくり

- ・公立保育園の統合新設（吉田保育園と米田保育園）
- ・民間の認可保育園の更なる誘致と認定保育室の認可化推進
- ・病児病後児保育の実施場所の拡充
- ・石ヶ瀬小学校内に放課後クラブ室の設置（学校敷地内での実施100%）
- ・放課後クラブ手数料の半月未満利用者の減額
- ・3歳未満の子どもを家庭で保育している保護者への支援
- ・総合的な児童虐待防止施策の推進と子ども家庭総合支援拠点の設置
- ・祖父母手帳作成

②未来を切り拓く人づくり・教育施設整備

- ・高校生までの医療費助成（一部自己負担）検討
- ・教育委員会にスクールソーシャルワーカーとスクールロイヤーの設置
- ・少年少女発明クラブの専用の活動場所確保
- ・小中学校での確かな学力の育成、体力づくりの推進
- ・部活動指導員の全中学校への配置、専門家の活用
- ・水泳授業における民間プール等の活用拡大
- ・道徳教育、英語教育の拡充
- ・平和教育の推進（中学生の沖縄派遣）
- ・ICT・プログラミング教育の推進、ICT支援員の時間数拡大
- ・経済的に困窮している児童生徒への学習面、財政面での更なる支援
- ・北山小学校横断歩道橋設置、給食室建替え
- ・大府北中学校の校舎増築、テニスコート整備
- ・神田小学校のグラウンドの改修
- ・老朽化した学校遊具の更新
- ・小中学校体育館の空調設備設置
- ・大府特別支援学校での肢体不自由児の受け入れ（県に要望）

- ・骨髄移植ドナー支援事業（ドナーと事業所）の実施
- ・タニタヘルスリンクと連携した活動量計を用いた健康プログラム事業の実施
- ・子どもの運動遊びプログラムの創設、保育園等での事業の実施
- ・距離表示などの看板をウォーキングコースに設置（6コース12か所）
- ・河川堤防を利用した緑道の整備推進（石ヶ瀬川、鞍流瀬川など）
- ・公共施設の敷地内・屋内禁煙の積極的な推進、禁煙外来治療費助成

■高齢者・障がい者施策

- ・ふれあいバスの路線改正（発着点をJR大府駅・共和駅に変更、豊明市・東海市に乗り入れ、中学生以下無料、通勤通学に利用できる0便増発）
- ・買い物支援ガイド作成、協定に基づく移動スーパーによる食料品販売事業開始
- ・常設のふれあいサロンの開設・運営費助成制度創設
- ・特別養護老人ホーム整備（オーネスト尚武）支援
- ・認知症対応型通所介護施設整備支援
- ・避難行動要支援者名簿に関する条例制定
- ・肢体不自由児等のための通園施設、発達支援センター「みのり」の開園
- ・障がい児日中一時支援事業の未就学児への拡充
- ・軽度・中等度難聴児の補聴器購入費用の助成
- ・障がい者施設における歯科健診補助
- ・障がい者差別解消法に関する職員対応要領作成
- ・市役所に手話通訳者の設置
- ・就労定着支援事業の実施
- ・「あけびの実」の新たな活動場所建設の支援
- ・地域生活移行を希望する障がい者への定期巡回訪問実施
- ・市役所における障がい者（精神）雇用の実施
- ・市役所臨時・嘱託職員の採用年令の上限撤廃
- ・地域包括ケアの推進に関する協定締結（大府市医師団、歯科医師会、薬剤師会、スズケン、市）



発達支援センター
「みのり」の開園

■認知症不安ゼロのまち

- ・全国初の「認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」の制定
- ・公民館を活用した健康長寿塾開催（3か所）
- ・「徘徊」という言葉を使用しない宣言、オレンジリングモニュメント設置
- ・認知症不安ゼロを目指すプログラム策定、実施
- ・プラチナ長寿健診（口腔機能健診の追加）の実施、コグニノートの活用、コグニバイクの設置
- ・あいちオレンジタウン構想への協力
- ・認知症カフェ登録制度の創設
- ・認知症家族支援のためのプログラム講座の実施、家族交流会の開催支援
- ・認知症高齢者事前登録制度、個人賠償責任保険制度の創設
- ・認知症初期集中支援事業の実施
- ・世界アルツハイマーデー啓発イベント実施



プラチナ長寿健診

2 オンリーワンの健康都市づくり・地域共生のまちづくり

健康寿命日本一を目指し、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域共生社会を推進します。

4年間の主な実績

■平和事業

- ・平和都市宣言、石碑設置、記念植樹（広島市の被爆樹木アオギリ2世）
- ・平和祈念戦没者追悼式の開催
- ・中学生の平和学習（平和大使として広島・長崎への派遣、平和朗読会の開催）

■健康づくり

- ・データヘルス計画・特定健康診査等実施計画の策定
- ・長寿医療研究センターの高度医療機器（MRI）整備費補助
- ・各種検診の拡充（B型肝炎ワクチン予防接種、胃がんピロリ菌検査、新生児聴覚検査、風疹抗体検査・予防接種等）
- ・熱中症対策（対策推進本部設置、小中学校空調設置、クールシェアスポット登録、同報無線活用）
- ・9020表彰の創設、成人歯科健診拡充
- ・小児がん治療児の再接種費用助成



平和都市宣言、石碑設置

お約束します。

①健康診査と健康増進事業の拡充

- ・特定健診、特定保健指導の受診率の向上
- ・特定不妊治療助成制度の創設
- ・3歳児健診視力検査におけるフォトスクリーナーの導入
- ・がん患者のアピアランスケア支援事業検討
- ・生活習慣病の重症化予防（糖尿病性腎症重症化予防事業の実施など）
- ・「健康都市おおぶ」みんなの健康づくり推進プラン策定（食育推進計画と自死対策計画（新）を含む）
- ・ゲートキーパーの養成
- ・公園での禁煙推進
- ・各種ウォーキング事業の推進
- ・河川の緑道を活用したウォーキングコースの整備
- ・大学・あいち健康プラザ・民間企業（タニタヘルスリンク、スギ薬局など）・三師会との連携強化

②高齢者や障がい者の居場所・生きがい・活躍の場づくり

- ・地域包括ケア推進ビジョンの策定
- ・ひきこもり状態にある本人や家族の相談窓口設置、訪問支援、居場所づくり
- ・重度精神障がい者のためのACT（包括型地域生活支援プログラム）の普及、啓発
- ・市内かかり付け医と訪問看護・介護など医療と介護の連携推進、おぶちゃん連絡帳活用
- ・認知症対応型グループホーム整備支援
- ・常設のふれあいサロンづくり促進のための支援拡充
- ・健康長寿塾の拡充（3か所⇒4～5か所）
- ・高齢者の外出支援策、買い物支援策として更なるふれあいバスの拡充
- ・農業などの分野で障がい者就労の場を創出（農福連携の推進）
- ・聴覚障がい者、盲ろう者のコミュニケーション支援（障がい者コミュニケーション条例制定、手話言語の普及啓発など）
- ・障がい者アート展をオリンピックの年に合わせて開催、内容の充実
- ・人生100年時代を見据え、元気な高齢者の活躍の場拡大検討
- ・共長児童センターに老人福祉部門の機能付加
- ・シルバー人材センター、老人クラブの活動の更なる支援

③認知症不安ゼロのまちづくり

- ・2万人認知症サポーターの養成、認知症カフェづくり支援拡充、家族の会支援
- ・プラチナ長寿健診、コグニノートの対象年齢を65歳以上に拡充

- ・歴史民俗資料館の常設展示室の拡張
- ・大府市スポーツ協会と総合型地域スポーツクラブOBUエニスポの共同企業体による体育施設指定管理
- ・市民体育館の床改修等、トレーニングルームの改修、トレーニング機器の更新、体育センターの駐車場拡張、市営テニスコート全面改修、横根グラウンドネット増設
- ・中学校武道場の開放拡大（西中と北中を追加し、4中学校で可能）
- ・市民体育館にレスリングマット整備、至学館大学と連携したレスリング教室開催
- ・市民栄誉賞、文化芸術功労賞の創設



至学館大学と連携した
レスリング教室開催

お約束します。

①若者と女性の活躍・男女共同参画・多文化共生

- ・小中高生のために夏休み等の長期休暇中の公民館会議室を学習室として開放
- ・中学生サミット開催
- ・高校生・大学生・青少年のイベント活動やボランティア活動を促進
- ・18歳投票権について学び場の設置
- ・若者会議の開催（一定の予算付与）
- ・子ども食堂の機能を包含した全世代型サロンの開設支援
- ・市内在住の高校生に選挙手帳を配布
- ・男女共同参画プランⅥの策定
- ・法令に基づく審議会等の女性登用率40%以上（現在33.81%）
- ・市内の事業所の仕事と家庭の両立支援を啓発
- ・市役所における20時以降ネットワーク遮断
- ・大府高校の姉妹校のあるノースバンクーバーなどとの新たな交流推進
- ・外国人児童生徒の日本語教室・学習支援
- ・外国人材受入拡大に伴う市役所の体制整備

②市民文化と生涯スポーツの振興

- ・大府市文化協会の活動支援
- ・子ども歌舞伎、子ども落語教室などの特色ある文化事業の継続・推進
- ・歴史民俗資料館の有効活用のための改修と大倉公園との連携
- ・大府市ユースウィンドオーケストラの活動支援
- ・明神樋門の国登録有形文化財に係る登録手続きを促進
- ・平和映画祭の開催
- ・新たなスポーツ施設の建設
- ・大府市レスリング協会の設立支援
- ・東部知多衛生組合プールのリニューアル



子ども歌舞伎

3 女性と若者も活躍でき、いきいき元気なまちづくり 男女共同参画社会、多文化共生社会を目指し、生涯学習、文化、スポーツの充実を図ります。

4年間の主な実績

■若者と女性の活躍・男女共同参画・多文化共生

- ・高校生議会の開催
- ・大府東高校へ期日前投票所設置（県内初）
- ・日本福祉大学、名古屋石田学園と連携包括協定締結（知多半島4つのすべての大学と締結）
- ・イクボス共同宣言（市役所・商工会議所）
- ・女性の活躍促進宣言
- ・「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同
- ・市役所における22時以降ネットワーク遮断による働き方改革の推進
- ・タブレット端末を活用した通訳システム、携帯型音声翻訳機の導入
- ・新居浜市との都市間交流協定締結
- ・王滝村宿泊施設利用料金助成制度創設



高校生議会の開催



新居浜市との都市間交流協定締結

■生涯学習・文化・スポーツ

- ・協働推進生涯学習課を市長部局に設置
- ・おおぶ文化交流の杜図書館貸出数日本一（3年連続）
- ・愛三文化会館大改修（もちのきホール、くちなしホール、外壁など）
- ・子供三番叟衣装の購入補助
- ・おおぶキネコ映画祭、ショートフィルムフェスティバル、アートオブリストの開催
- ・鈴木政吉レクチャーコンサートの開催、おおぶ文化交流の杜に銅像設置
- ・世界的な数学者永田雅宣プロジェクトの実施
- ・半月七社神社おまんと祭りの市無形民俗文化財の指定
- ・大倉公園茅葺門改修、トイレ洋式化、カップ像設置、絵本作成



半月七社神社おまんと祭りの
市無形民俗文化財の指定

4 賑わいと潤いの感じられるまちづくり 駅周辺の賑わいを創出し、安全で快適な道路、歩道、緑道、公園などの整備を進めます。

4年間の主な実績

■駅周辺の賑わい

- ・大府駅構内にKURUTOおおぶの開設
- ・大府駅前マルシェの開催支援
- ・大府駅自由通路の改修



大府駅構内にKURUTOおおぶの開設

- ・大府駅東口トイレ洋式化、路面バリアフリー化、シェルター設置
- ・大府駅西口にオレンジリングモニュメントの設置、江端大橋塗装改修
- ・大府駅西口トイレ建替え、シェルター設置
- ・空き店舗等利活用補助制度の創設
- ・空家等対策計画策定、協定締結（県宅建業協会、シルバー人材センター）
- ・空家等対策推進条例の制定
- ・大府駅前線の歩道、ロータリー等の改修
- ・ふれあいバスの路線改正（発着点をJR大府駅・共和駅に変更、豊明市・東海市に乗り入れ、中学生以下無料、通勤通学に利用できる0便増発）
- ・鞍流瀬川緑道の整備（江端大橋から矢戸歩道橋までの右岸、飛び石設置）

■金メダルのまちづくり

- ・都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト推進
- ・使用済み小型家電回収の推進
- ・オリンピック出場選手パネル展示、応援ポロシャツの制作・販売
- ・ゴールドポケットパーク整備
- ・東京2020オリンピック聖火リレー誘致

■道路・区画整理

- ・市道荒池長草線（共和西区画整理地区から三ツ屋木の山線区間供用開始）
- ・市道五ツ屋線と県道長草東海線の待避所設置
- ・横根平子、北山区画整理事業の組合設立

■水と緑

- ・鞍流瀬川緑道の整備（伊勢木橋から令和柵山橋までの右岸）
- ・石ヶ瀬川緑道の整備（森岡橋アンダーパス）
- ・ため池保全活用計画の策定
- ・大府駅西ロータリー、長草新池ポケットパークの緑化
- ・星名池、白鯉池の親水施設改修
- ・ハツ屋大池公園、てるへい公園の開園
- ・既存公園の遊具の計画的改修
- ・市民との協働による河川清掃イベントの実施
- ・渡り蝶アサギマダラを呼びのためのフジバカマの植栽



市民との協働による
河川清掃イベントの実施



鞍流瀬川緑道の整備（江端大橋から
矢戸歩道橋までの右岸、飛び石設置）



市道荒池長草線（共和西区画整理地区
から三ツ屋木の山線区間供用開始）



ハツ屋大池公園



渡り蝶アサギマダラを
呼びのためのフジバカマの植栽

③道路・区画整理

- ・知多半島道路大府パーキングエリア（下り線）建設促進と（上り線）商業施設を一般道から利用できる駐車場整備（県・愛知道路コンセッションとの連携により）
- ・県道横根大府線の歩道設置
- ・市道上原殿田線、井田上線、共和駅東線、養父森岡線の整備
- ・市道4073号線（大和機工から共和病院を結ぶ路線）、市道3123号線（げんきの郷・半月町地内）の道路拡幅
- ・市道大府本町線の歩道設置
- ・市道柵山大府線の整備（道路改良、待避所設置）
- ・生活道路、通学路の整備推進（側溝の有蓋化、改修を重点的に実施）と舗装修繕
- ・共和西区画整理事業の早期完了
- ・横根平子、北山区画整理事業の促進による良好な住宅地供給と公園・緑づくり
- ・横根地区国道366号沿道を住居系に位置付け

④水と緑の環境整備

- ・あいち森と緑づくり事業を活用したふるさと森づくり（放置された里山林、竹林の整備）
- ・横根立会池の公園化
- ・河川堤防を活用した緑道（歩道）整備 例えば、石ヶ瀬川右岸（石ヶ瀬人道橋から森岡橋まで、森岡橋から尾坂田川まで）
- ・沿道、公園や公共施設に桜、ツツジ、ハナモモの植樹を推進
- ・辰池公園化プロジェクト支援
- ・老朽化した公園遊具の更新
- ・地域に親しまれる川池整備推進（景観、親水空間、公園機能など）
- ・新池（若草町）に安全に池を周回できる張出遊歩道の整備
- ・アダプトプログラム、河川協力団体などによる市内河川の清掃促進

5 災害や犯罪の無い安心・安全に住み続けられるまちづくり 大雨、地震などの防災・減災対策の充実、防犯対策、ゴミ減量化など、安心・安全で住みよい生活環境をつくります。

お約束します。

①駅周辺の中心市街地活性化と景観整備

- ・中心市街地活性化のためのプラン策定とアドバイザー設置
- ・民間活力導入による大府駅東駐車場・駐輪場の立体化と商業施設誘致
- ・大府駅東南部地域における空家対策と土地の利活用のための再整備手法検討
- ・共和駅東側自動車駐車場の立体化促進
- ・共和駅西側自転車駐車場増設
- ・新たに景観計画策定
- ・金メダルのまちづくり推進
- ・地域公共交通網形成計画の策定
- ・JR新駅の長期的な視点での推進

②幹線道路整備促進のための県事業の要望強化

- ・現在施工中の一般県道東海緑線（本郷交差点以西）、都市計画道路大府東浦線（森岡地区）の幹線道路の早期整備と一般県道名和大府線田面交差点の渋滞解消のための交差点改良
- ・知多半島道路大府パーキングエリア（下り線）新設に伴う一般県道長草東海線（都市計画道路荒尾大府線）の事業促進

4年間の主な実績

■防災・減災対策と消防力の充実

- ・災害被災地への支援（職員派遣、物資提供等）
- ・新居浜市との災害時相互応援協定締結
- ・雨水対策を一元的に実施する課の設置
- ・六間調整池設置工事、ため池の耐震対策工事（北崎大池、辰池など）
- ・矢戸川浚渫、河川の樹木等伐採
- ・横根配水場、長草配水場第2配水池耐震工事
- ・防災士資格取得補助制度の創設
- ・民間住宅の耐震改修支援拡充（市内業者による改修の場合の増額、耐震シェルター設置補助制度・ブロック塀等撤去費補助制度の創設、木造住宅段階改修費補助制度の開始）
- ・避難行動要支援者名簿に関する条例制定
- ・被災者支援システム・市町村防災支援システムの導入
- ・市内コンビニへのAED設置（43か所）
- ・吉田分団詰所建替え
- ・災害対応特殊救急自動車等の更新
- ・同報無線の利用拡大
- ・防災ガイドブックの全戸配布



六間調整池



市内コンビニへのAED設置

■防犯・交通安全

- ・大府市犯罪のないまちづくり基本計画（第3次）策定
- ・公用車へのドライブレコーダー搭載と画像提供に関する協定締結（市・東海警察署・商工会議所）
- ・パトロール3号車の導入、地域安全推進員の拡充（4人⇒6人）
- ・大府駅や共和駅、公共施設への防犯カメラ設置推進
- ・防犯カメラ設置ガイドライン策定
- ・民間のノウハウを活用して防犯カメラの設置場所を自治区と協議する仕組みを創設
- ・交通指導員の確保策（賃金の改正、勤務形態の見直し）の充実
- ・すべての道路照明灯をESCO事業によりLED化（令和元年度完了予定）
- ・ゾーン30の指定（大東町）、グリーンベルトの設置
- ・信号のない横断歩道に「ぴかっとわたるくん」（ボタンを押すとLED点滅）設置
- ・交通安全条例改正により、自転車利用者に保険加入努力義務を設定
- ・損害保険会社と交通安全に関する連携協定締結
- ・大府幹部交番での免許証自主返納手続きが可能となるよう要請



公用車へのドライブレコーダー
搭載と画像提供に関する
協定締結



消費生活センター設置

■消費生活・ごみ減量

- ・消費生活センター設置、スロープの設置
- ・粗大ごみの戸別収集開始
- ・家庭系ごみ減量化実施計画策定
- ・学校給食等の残菜を横根バイオガス発電施設に搬入
- ・家庭系生ごみ分別収集モデル事業実施
- ・小規模貯水槽水道の適切な管理のための条例制定

お約束します。

①大地震や大雨など防災・減災対策の徹底

- ・県の計画に位置付けられている五ヶ村川の河道改修と市内ポンプ場用地への新規河川ポンプ場設置の事業推進を県に強く要望（大東地区）
- ・大府北中学校に調整池を設置し、総合治水対策を推進
- ・江端雨水ポンプ場の計画的な改築
- ・上下水道施設の耐震化と老朽ため池の計画的な整備
- ・同報無線のデジタル化等情報伝達手段の拡充
- ・自助・共助・公助の防災教育の推進
- ・石根川、長草川の河川改修を推進

②消防力の充実強化

- ・消防署共長出張所の新築移転と防災学習センター建設
- ・消防自動車の機能拡充
- ・消防職員の計画的な採用

③防犯・交通安全対策

- ・大府市犯罪のないまちづくり基本計画（第3次）の推進
- ・市の地域安全推進員（警察官OBなど）とパトロール車の更なる充実
- ・民間活力導入による防犯カメラの設置推進
- ・防犯灯のLED化推進
- ・警察署の誘致と警察力の充実に向けて東浦町と連携して県に対し要望活動強化
- ・通学路などの事故の危険性の高い箇所の交通安全対策強化（グリーンベルト化、ゾーン30指定、ハンプ設置、カラー舗装、ガードレール整備など）
- ・中学生の自転車損害賠償保険料の公費負担
- ・高齢者ドライバーを対象に自動車の急発進防止装置設置費助成

④循環型社会づくり

- ・バイオマスプラスチック製のごみ袋導入
- ・クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の拡充
- ・動物愛護条例の制定（動物愛護法改正を受け、マイクロチップなどの奨励）



消防署共長出張所の新築移転と
防災学習センター建設

6 働く場があり豊かな暮らしのできるまちづくり

工業、商業、農業の振興により活力ある豊かな市民生活の基礎をつくり、働く人の福祉の向上に努めます。

4年間の主な実績

■ウェルネスバレー

- ・長寿研、あいち小児医療現場臨床ニーズ発表会の開催
- ・土地利用意向調査の実施
- ・医・福・エマッチング支援
- ・ウェルネスバレーブランド認定制度創設



長寿研、あいち小児医療
現場臨床ニーズ発表会の開催

■商工業・生活者

- ・商工会館にエレベーター設置、トイレの洋式化、多目的トイレ設置
- ・プレミアム付き商品券の発行
- ・ふるさと納税の活用による地場産品等の販路拡大
- ・KURUTOおおぶで特産品販売開始、観光案内所設置
- ・中小企業振興アクションプラン策定
- ・優良企業の立地（工事着工平成28年から11社）
- ・企業再投資促進補助金等の補助期限延伸
- ・空き店舗等利活用補助制度の創設
- ・三世代同居近居住宅支援制度の創設
- ・買い物支援ガイドの作成
- ・技能五輪等の全国大会での成績優秀者表彰制度創設



商工会館にエレベーター設置

■農業

- ・農業塾の開校
- ・グリーンツーリズムの実施、大府駅前におけるマルシェ開催支援
- ・新規就農者支援として農業用機械購入等の費用助成
- ・果樹農家の鳥獣被害防止施設設置費用の助成
- ・農業者と食品会社とのコラボによるあいちの伝統野菜を使った製品開発、販売
- ・国の制度を活用して6次産業化に取り組む事業者への助成
- ・大府市が構造改革特区「どぶろく特区」の認定を受ける



農業者と食品会社とのコラボによるあいちの伝統野菜を使った
製品開発、販売

お約束します。

①「あいち健康の森」周辺整備と優良企業の誘致、雇用の場の確保

- ・東浦町と共同でウェルネスバレー基本計画の推進
- ・ウェルネスバレー地区の土地利用検討、具体化
- ・木の山地区、吉田地区（瀬戸大府東海線北側）、北崎IC付近、長草地区（知多半島道路西）への企業誘致（民間企業や県企業庁と連携）
- ・県スタートアップ支援事業におけるサテライト支援拠点誘致

②商店街の活性化と都市近郊農業の育成

- ・産業・観光振興基本計画策定
- ・一店逸品・逸サービス運動など意欲ある事業者を支援
- ・ふるさと納税を活用した、特産品の知名度アップ、ブランド化、消費拡大
- ・優良農地の保全確保と新規就農者支援
- ・6次産業化を通じた付加価値の高い都市近郊農業の推進
- ・全国どぶろく研究大会の誘致

- ・地産地消及び地産他消の推進
- ・畜産業の臭気対策支援
- ・農福連携の推進

③生活者施策

- ・買い物不便地における商業施設誘致
- ・三世代同居近居住宅支援制度の充実

7 持続可能な都市経営

効率的で質の高い都市経営を確立し、分権時代にふさわしい市民との協働によりサステナブル健康都市を目指します。

4年間の主な実績

■健全財政

- ・市債残高33億5千万円縮減（平成27年度238億8千万円⇒令和元年度205億3千万円）
- ・大府市中長期財政推計策定（平成30年6月）
- ・地方創生に関する地域再生計画の内閣総理大臣認定（交付金活用）
- ・ふるさと納税の大幅な拡充（特産品の活用）
- ・ネーミングライツ制度導入

■改善改革

- ・第三者機関として有識者による行財政改革委員会を設置、外部評価制度導入
- ・議選監査委員の廃止（県内初）
- ・下水道（汚水）と農業集落排水を一元化、公営企業会計を導入（令和2年度から実施）
- ・パブリックコメント、土地開発指導要綱の条例化、公契約条例制定など政策法務の推進
- ・共和西児童老人福祉センターに指定管理者制度導入
- ・共和東保育園の民営化（令和2年度から）
- ・公共下水道事業経営戦略策定
- ・ソフトバンクと「ICTの活用による持続可能なまちづくり」に関する包括連携協定を締結
- ・市役所にタブレット端末・RPAの導入
- ・ハウレンソウシートの活用（報・連・相と方・連・創）
- ・公共施設等総合管理計画策定
- ・地方創生に関する包括連携協力に関する協定締結（市、商工会議所、金融機関）

■分権

- ・市役所でのパスポート発行とマイナンバーカード利用によるコンビニでの住民票発行
- ・認可外保育施設（認定保育室）の指導監督等の事務を県から権限移譲

■協働

- ・協働のまちづくり推進条例改正（条例に職員の役割を位置付け）
- ・地域力コーディネート強化塾の実施
- ・職員と市民との協働による河川清掃の実施
- ・自治区運営補助金の増額、コミュニティ補助金の統合
- ・NPO、地縁組織などによるコラビア交流会開催



ソフトバンクと「ICTの活用による持続可能なまちづくり」に関する包括連携協定を締結



市役所でのパスポート発行

- ・市民と市長のまちトークの開催、地域別懇談会の開催
- ・自治区とコミュニティの在り方を検討する地域力活性化会議の開催
- ・報酬を伴う職員の地域貢献活動の位置付け見直し

■情報発信

- ・おぶちゃんを市公式マスコットキャラクターに任命
- ・ゆるキャラグランプリにおぶちゃんが参加（平成30年度6位）、グッズの制作販売
- ・「住みよさランキング」と「ゆるキャラグランプリ」が共に6位
- ・市ホームページをリニューアル（スマホ対応）
- ・市PRポロシャツ着用による市議会の開催
- ・広報大使の委嘱（吉田沙保里、吉田秀彦、竹澤恭子、水野紗希）
- ・JRA「大府特別」の開催
- ・健康ロビーを活用した情報発信
- ・WHO健康都市連合国際大会で健康都市優秀インフラストラクチャー賞を受賞

■広域行政

- ・東部知多衛生組合、知多地方税滞納整理機構などの広域行政を推進
- ・新居浜市との都市間交流協定の締結
- ・大府東浦花火大会の開催支援
- ・ふれあいバスの市外（豊明市、東海市）への乗り入れ



市民と市長のまちトークの開催



ゆるキャラグランプリ



新ごみ処理施設「エコリ」

お約束します。

①健全財政

- ・市債残高（全会計トータル）の縮減
- ・企業版ふるさと納税の活用検討

②改善改革

- ・地方創生事業の積極的な取り組み
- ・RPAやAIの積極的な導入
- ・PPP／PFI事業の推進
- ・マイナンバーカードの取得促進と活用
- ・公衆無線LAN（Wi-Fi）整備（駅前、市役所、アロブなど）
- ・時代に即応した組織改正を随時行い、より迅速で的確な意思決定の実現（例えば、下水道事業の公営企業会計導入に伴い、水道部を上下水道業務にフレキシブルに対応できる組織に改組・「おくやみコーナー」の開設）
- ・政策法務の更なる充実（児童虐待防止条例、手話言語条例の制定など）
- ・任期付職員の採用（管理職、専門職など）

③協働

- ・地域に飛び出す公務員を応援、職員の地域活動参加促進
- ・自治区、コミュニティの補助金の統合化
- ・自治区、コミュニティの在り方を地域内分権の観点から検討
- ・河川の清掃（クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府などを活用）活動の推進

④分権・広域行政

- ・消防、水道、税滞納整理機構などの広域行政を積極的に推進
- ・地方分権提案制度の活用
- ・東浦町との連携強化
- ・市町村合併の調査研究
- ・様々な縁や結びつきを契機とした都市間交流の深化と拡大（遠野市、新居浜市、沖縄県読谷村など）